

# 宇宙機設計のパラダイムシフト： デジタルエンジニアリングによる設計・開発

近年、宇宙開発ではシミュレーションを中心としたデジタルエンジニアリング(DE)の導入が進んでいます。

一度の打ち上げで成果を問われるミッションクリティカルな宇宙機設計において、開発初期からのデータ統合と解析連携は信頼性向上とコスト削減の鍵となります。

本セミナーでは、海外企業での事例やジェームズ・ウェップ宇宙望遠鏡などの海外事例を交えながら、物理シミュレーション分野の世界的リーディングカンパニーであるAnsysが提供するシミュレーションプラットフォームによる宇宙機開発の最新アプローチをご紹介します。

## 開催概要

形式	対面開催(事前申し込み、無料)
日 時	2025年12月11日(木) 13:00-17:25 / 懇親会(調整中) 17:30-18:30(受付開始12:00)
場 所	宇宙ビジネス共創拠点 X-NIHONBASHI Tower カンファレンススペース 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー7階
申し込みページ	<a href="https://ansys.oatnd.com/space_industry_seminar_2025">https://ansys.oatnd.com/space_industry_seminar_2025</a>



申し込みページ

## 講演者

	アンシス・ジャパン株式会社 技術部 Lead Application Engineer <b>石田 哲朗</b>  航空宇宙・防衛分野のソフトウェアエンジニアとしてキャリアをスタートさせ、官公庁(主に、自衛隊、防衛省、JAXA)向けのソフトウェア開発に従事。 その後、国立研究機関にて宇宙物理学の研究に従事し、博士号(理学)を取得。その後、国立大学・大手電機メーカーにて複数の衛星開発プロジェクトに従事。特に、中国や越南などの宇宙開発途上国向け小型衛星開発プロジェクトを推進。		LSAS Tec株式会社 COO <b>高橋 佳子 様</b>  米国Analytical Graphics Inc(現在Ansys Government Initiative)の日本総代理店を経て2019年LSAS Tec株式会社 設立メンバーとして参加。現在同社 常務執行役。		Ansys, Inc. Lead Application Engineer – A&D <b>Jared Byron</b>  ジャレッド・バイロン氏は、機械工学の学士号と航空宇宙工学の修士号を持つシステムおよびオペレーションエンジニアであり、宇宙産業における設計・製造・試験・運用の各分野で10年以上の経験を有しています。 彼は、Masten Space Systems社での垂直離着陸機や月着陸船、Stratolaunch社での極超音速飛行試験機など、ロケットシステム設計・推進系開発・試験運用を主導・支援し、信頼性の高い打ち上げシステムを開発するうえでの課題を現場で深く理解してきました。
--	--	--	--	--	---

## Program

13:00-13:10	開会のご挨拶
13:10-13:40	デジタルエンジニアリングによる宇宙機開発プロセスの変革 アンシス・ジャパン株式会社 技術部 Lead Application Engineer <b>石田 哲朗</b>
13:40-14:40	STKによる宇宙ミッション解析の実践 -地球観測からシスルナ軌道まで- LSAS Tec株式会社 COO 高橋 佳子／ミッションエンジニアリング事業部 <b>宮良 祐紀</b>
14:40-14:55	宇宙開発における完全なデジタルエンジニアリングに向けて アンシス・ジャパン株式会社 技術部 Lead Application Engineer <b>Michael Haisma</b>
15:10-15:40	Simulation and Analysis for Rocket Systems – Engineering Confidence from Component to Mission (英語講演) (ビデオもしくはオンライン講演) <b>Jared Byron</b> , Lead Application Engineer – A&D, Ansys, Inc.
15:40-16:15	JWSTモデルを用いたSTOP解析による宇宙環境下での光学シミュレーション アンシス・ジャパン株式会社 技術部 Senior Application Engineer <b>平加 ケンスケ</b>
16:15-16:55	Ansysソリューションが実現する宇宙通信・レーダの革新 – 高忠実度RF設計とリアルタイムチャネルモデリング – アンシス・ジャパン株式会社 技術部 Lead Application Engineer <b>ゲン トウン</b>
16:55-17:25	衛星の放射線および熱対策 - マルチフィジックスツールによる設計と検証 アンシス・ジャパン株式会社 Physics製品営業部 Product Sales Executive <b>尹 治文</b>
17:30-18:30	懇親会・ネットワーキング (調整中)